

ひだまり通信 No.11 2009.2月



庭の福寿草。例年より一カ月程早い開花です。

毎日、暖かい日が続いております。

皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

こちらは、わずかに積っていた雪も、雨ですっかり溶けてしまいました。子供達も自転車に乗ったり、スニーカーで鬼ごっこをしたりして、外で遊んでいます。いつもの冬には、キズのつかいが隠れ家から雪の上を渡り、堆肥舎のこぬかをついばみに来ますが、その光景は見られません。吹雪いた日もありましたが、隠やかに過ぎてゆく冬です。

農園では、育苗や作付けの計画の確認が始まりました。清耕園の2008年をふりかえってみました。



2月 一面の銀世界。



3月 春らしい明るい陽射し。



4月 ひだまりに群生するすみれが花盛りです。



農作業が始まる頃、家の周りのぜんまいがぐんぐん伸びてきます。収穫後のぜんまいは、ゆでてから干しますが、その間に繰り返す手もみ、あの食感を出します。おじいちゃんとおばあちゃんは大忙しです。



ハウスの横にある苗の水やり用の溜りは、カエルのたまごがたくさん。まもなくおたまじゃくしで、いっぱいになります。

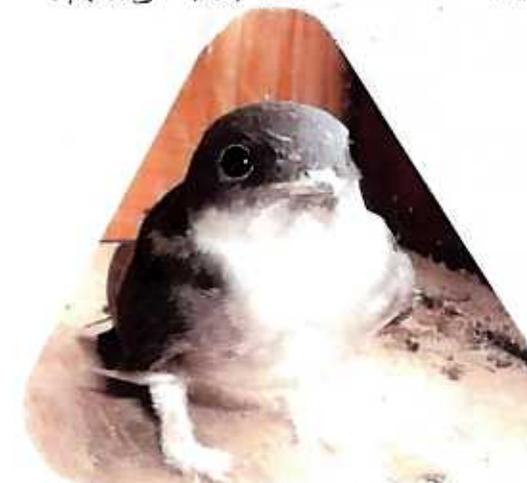


4月初旬 種まき開始です。



出芽器から出された苗は、ハウスに並べられて、保温と庶光をされながら、徐々に緑色に伸びていきます。

休日に子供達が 苗の片付けを手伝ってくれました。末っ子のお目当ては、一輪車に乗せてもらうことのようにです。



天気と換気、水の与え方で苗の良し悪しが左右されます。苗半作と言われる程、苗作りは重要です。

あぜ道に咲く「からすのえんどう」可愛いもも色です。

ますます つばめの巣の数が 増えて、たくさんのヒナが誕生しました。空を飛ぶ練習が 始まりました。

田植後の稲は、根付くと栄養分を吸収して、葉の色を濃くしていきます。



晴天に恵まれた5月でした

6月 マスク×ロンの定植です。

7月 稲の葉につながらり 羽化するトンボです。



暑い日には、40℃を超える夏のハウス。ここ数年は、ミツバチさんがメロンの受粉をしてくれています。お礼に冷たい砂糖水。



田んぼから打ち上げられる花火。雲ひとつなく、見事でした。



きおん祭。子供神輿の準備です。鳳凰の鳥のくちばしに、稲をくわえさせて、豊作を祈願します。



田んぼの水路に咲く「ばいかも」の花。きれいな水でなければ育たない 沈水植物です。



あぜ草を取っていると、水路にイワナが泳いできました。



精米室に色彩選別機が入りました。精米後にくださったお米や未熟なお米を除き、さらに不良の粒を取り除いて選りすぐりのお米だけを分別して、お届けすることができるようになりました。



お盆から9月の初めは雨ばかりでした。お日様が出てくれないと甘いメロンもできないし、稲刈りも遅れます。子供が作ってくれたてるてる坊主の「てる子ちゃん」翌日から晴天が続きました。効果抜群！



9月に入りました。早く実る品種の稲から収穫が始まります。



お父さんと一緒に、メロンの収穫です。





稲刈り適期の田んぼは、すっかり黄金色に染まります。



いなごの数が増えています。



11月 家の近くに熊が出没しました。



12月 家から眺める白馬連峰。



お米の検査日です。今期は厳しい暑さから、お盆頃の急激な気温の降下により、稲はダメージを受けました。心配しましたが、お米は全量一等級になり、食味検査の点数も合格点を満たしました。



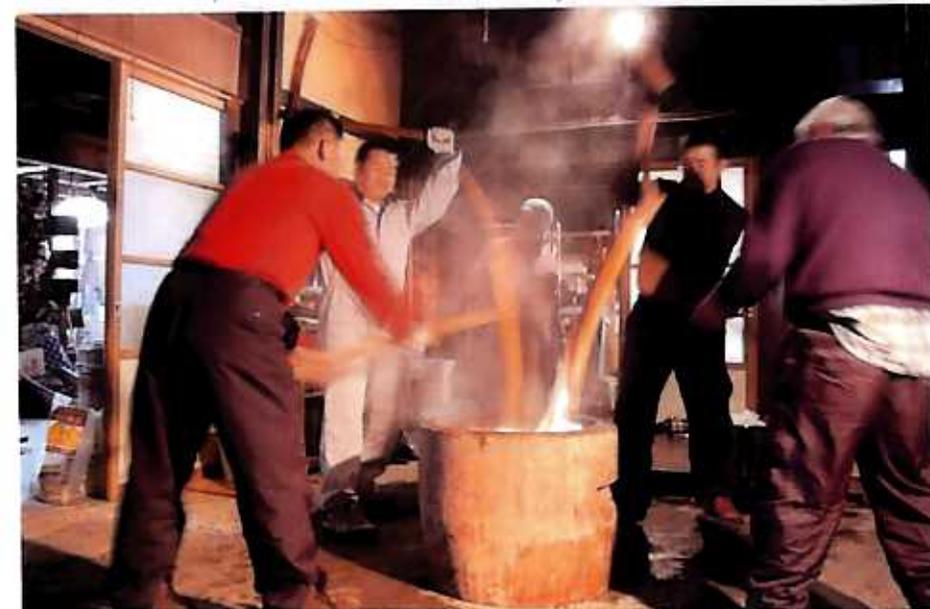
家の裏のもみじに下がるお蚕さんのまゆ。柿の枝に産みつけられたかまきりのたまご。真冬の風雪にじっと耐えます。



稲刈りの後も、晴天が続いたので、堆肥散布や、秋の田うちなどの翌年にむけての作業が、順調に進みました。



おじいちゃんとおばあちゃんが栽培したさつまいもは、甘くておいしいです。



知入のお家です。農家で、玄関を入りますと、広い土間があります。もちつき仲間に入れていただきました。